

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890400090
法人名	医療法人青峰会
事業所名	アクティブライフ千代田
所在地	愛媛県八幡浜市川通1455番地20
自己評価作成日	平成29年1月31日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成29年2月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・平成28年4月1日に開設しました。近隣にはお参りが出来るお地藏様があったり、目の前を流れる新川はお散歩コースに最適です。入居者さんの出来る事・出来そうな事を大切に、ホームの生活の中でも役割を持ってもらえるよう支援しています。また、外へ出かける機会を作り、ご家族や地域との繋がりを大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

テレビの音量や職員の声を抑えめにして、静かな雰囲気を作っている。各所にソファやいすを配置しており、又、廊下の突き当たりの日当たりの良い場所にいすを置き、思い思いに過ごせるようにしている。職員が出窓や所々に季節の小物を飾っており、利用者の楽しみにもなっている。
 利用者の性格等を踏まえて、利用者同士がかかわり合えるような場面を作っている。調査訪問時には、職員が編みかけの編み物を持って来ると、利用者同士が思い出や経験談を話したり、実際に編んでみたりしていた。又、季節の花をテーブルやテレビの横に活けて、よく話題にしている。
 調査訪問時には、利用者がごぼうの笹がきをしたり、台所で一緒に調理したりする場面がみられた。旬の食材を採り入れて、見た目でも楽しめるような食事作りに取り組んでいる。職員も利用者と一緒に同じものを食べながら、味付け等を聞いていた。ユニットによっては、利用者が食事のメニューを書いて掲示している。ケイタリングを利用してイタリア料理を楽しむ機会がある。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 アクティブライフ千代田

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 林 香代

評価完了日 29 年 1 月 31 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念を作成するにあたり、自分に置き換えて「どのようなホームなら入居したいか、どんな生活を送りたいか」等、職員にアンケートを実施しました。アンケート結果をもとに現在の理念を作成し、日々の実践に繋げています。	
			(外部評価) 開設時に、職員の意見を採り入れて「入居者の出来ることを大切に、明るく・元気に楽しく生活が送れるように支援します。外出する機会を作り、ご家族や地域との繋がりを大切にします。」と理念を作り、玄関等に掲示している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 近所の方には、花壇の花の手入れをしていただいております。散歩の際にも声を掛け合うなじみの関係が築けています。地域の行事にも出来る限り参加し、地域との繋がりを大切にしています。今後は回覧板を回してもらい、地区の防災・婦人会等今まで以上に地域との繋がりが持てるよう取り組む予定です。	
			(外部評価) 隣人が花壇の手入れをしてくれたり、犬の散歩途中の方が居間の窓から顔を出してくれて、犬とふれ合う機会を作ってくれたりしている。運営推進会議に参加している民生委員の仲介で、秋祭りには神輿の訪問があった。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議等でグループホームについて議題に取り上げ、グループホームがどういう施設なのか理解していただくよう今年度は行事にも参加していただきました。今後も認知症に対する理解が得られるよう活動を通して地域貢献に繋がっていきやすいようにしたいと考えています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 地域行事に関しては、民生委員さんより情報をいただき、参加することが出来ました。行事に参加していただくことで、ホームでの生活の様子を理解していただけたようです。前回の運営推進会議では、メンバー拡大に向けて区長さん・婦人会等をご紹介いただいたので、より多くの方々からの意見を反映出来るよう会議への参加を依頼する予定です。</p> <p>(外部評価) 会議は、そうめん流しや家族会と併せ、すべての家族に案内して、まずは事業所のことを理解してもらえるように取り組んでいる。現在、地域からは、民生委員が参加しているが、今後は、町内会に加入する等してメンバーを拡げていく予定がある。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 事故発生時等、報告書提出前に連絡を入れるようにしています。報告書提出時には、内容を見ていただき今後の対策についてアドバイスをいただく事も多いです。また、入退きの報告や各種手続き等、期限内に行えるよう市の担当者の方と連携し対応しています。</p> <p>(外部評価) 事故報告書等は市に持参しており、その都度、対策等について具体的なアドバイスがある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居者さんの状況に合わせて、身体拘束にならない方法をその都度検討しながら支援しています。「対象となる具体的な行為」についても職員間で理解できるよう資料を配布し理解に努めています。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時、玄関は一部網戸にしていた。入居間もない利用者の中には、「帰りたい」気持ち強い方もおり、職員は利用者の言動を止めるような言葉掛けをする場面があったようだが、管理者は、「自分に置き換えて」「利用者の立場に立って」とアドバイスしたり、一緒に振り返ったりしながら拘束のないケアをすすめている。布団に鈴を置き、利用者が動くとき鈴が鳴るようにしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 28年度は高齢者支援課で毎月「高齢者虐待対応勉強会」があり、3月までには全員が勉強会に参加する予定です。不適切なケア等グループワークを中心の内容となっています。事業所内でも注意を払い防止に努めています。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、制度を利用している方はいませんが、制度については学ぶ機会を持ち、今後必要になった場合に活用出来るようにしています。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時にはゆっくりと時間をかけて説明しています。また、改定時には書面で説明と面会の際に不安な点や困っている事等について声をかけるようにし、必要に応じて説明を行うようにしています。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各階の玄関にボックスを設置し、いつでも意見や要望を記入できるようにしています。普段の関わりの中や面会時には、ご家族からの意見や入居者さんの意見を聞き出せるよう声を掛けるようにしています。 (外部評価) 毎月、個別の様子を伝える手紙を送付している。又、2ヶ月ごとの事業所便りには、利用者の笑顔の写真を多く載せて全体の取り組みや活動を発信している。行事や運営推進会議の機会を活かして、家族が集う機会を積極的に作っている。	家族はケアパートナーでもあり、一緒に活動するような機会を今後も工夫して行ってほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月スタッフ会を開催し、職員の意見や提案を聞く機会となっています。日々の業務の中でもこちらから職員に声をかけ、職員が意見を出しやすい環境を心がけています。	
			(外部評価)	
			法人でストレスチェックの仕組みがある。又、事業所内では、管理者が職員個別に声をかけて聞き取っている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員には通常業務以外に各担当業務をつけ、個々の得意分野を活かせるようにしています。また、能力開発カードがあり、年間の部署目標やそれぞれの目標を立て、目標達成に向けて取り組めるような体制があります。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			新入職員には初任者研修があります。また、外部研修の案内は全員が閲覧出来る場所に掲示したり日誌に挟んで閲覧出来るようにして情報提供しています。適宜受講出来るよう声を掛けたり、場合によっては業務研修として参加してもらう事もあります。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			研修や各委員会の活動を通してグループ内外の同業者と交流を図っています。市が主催のグループホーム連絡会もありネットワーク作りや勉強会を通して知識を深めています。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居前には事前面談を行い、顔合わせの機会としています。その際、本人が困っている事や不安な事、要望等に耳を傾けながらご本人やご家族の不安要素が少しでも軽減できるよう配慮しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居者さんとの事前面談の際に、可能であればご家族様にも同席してもらい、事前にご家族様が困っていることや不安なこと、要望等が聞けるよう工夫しています。また、入居までに実際にホームの見学をしていただき雰囲気を見てもらうようにしています。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居に際しては、居宅介護支援事業所のケアマネージャーさんや利用されていた施設の職員さん等、関係各所と連携をとりながら他のサービス利用も含めて検討するようにしています。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ホームの生活の中で「出来る事・出来そうな事」は一緒に行うようにしています。何かしてもらった時には感謝の気持ちを伝えるようにし、「まだまだやれるんだ」と感じてもらえるようにしています。入居者さんに教えてもらう事も多く、そんな時には入居者さんがいきいきとしています。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 入居後間もない時には、特にご家族による支えが必要な時期であることをお伝えし、面会等でご家族との時間を過ごせるようお願いしています。また、月に一度手紙を送り、生活の様子をお伝えしたり、体調面等何か変わった事があった場合にはこまめに連絡をとり状況を報告するようにしています。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 病院や美容室、よく利用していた店等、ご家族にも協力していただきながら継続して利用できるよう支援しています。また、ホームでの外出先に馴染みの場所へ行けるよう行き先を決めたり、手紙や電話のやりとりも継続出来るよう支援しています。 (外部評価) 利用者にとって、馴染みの菓子店や魚市場等に出かけられるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 水分補給や食事の時等、職員が間に入り会話の橋渡しをしながら入居者さん同士が関わりを持てるように支援しています。レクリエーションをする時にも声掛けをして参加してもらっています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約が終了して以降も、これまでの関係性を大切にしながら必要に応じて経過をフォローしたり相談や援助に努めています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入居者さんの思いに添えるよう普段の関わりの中で暮らし方の希望や意向を聞き出せるようにしています。言葉でうまく伝えられな時にはホワイトボードを利用し筆談をしたり、その時の状態に合わせて柔軟に対応しています。 (外部評価)	さらに、利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、こだわりや大切にしてきたこと等について情報を集めて、本人が何を求め、必要としているのかを本人の視点で検討して欲しい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 居宅介護支援事業所等、それまで関わってこられた方々からの情報収集と合わせて、これまでの生活の様子をご本人やご家族から聞き、経過の把握に努めています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の申し送りや介護記録を見て現状の把握に努めています。また、日々の暮らしの中で、声掛けをしながらその日の状況に合わせて出来る事や出来そうな事を見つけて一緒に行うようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人がよりよ良く暮らせるために、課題とケアのあり方について本人やご家族、必要な関係者と話し合いの場を持ち、計画書を作成しています。経過等、何か気になる事があれば、日々の申し送りで随時意見交換したり、スタッフ会で話し合いの時間を作ったりしています。	
			(外部評価) 利用者の現況や希望をもとにして、家事やレクリエーションを通じて身体機能の維持向上を支援したり、持病のケア、隣接デイケアの利用等、家族と話し合ったり、職員のアイデアを採り入れたりして介護計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 入居者さんの発言や職員の対応等個別に記録に記入し、必要な場合には日誌にも転記し、職員間で情報を共有しながら支援しています。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) その時々状況に合わせてプランの見直しを行い、既存のサービスに捉われない柔軟な支援が出来るよう取り組んでいます。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 近隣にあるお地蔵様までお参りに行ったり、川の周辺を散歩したり、八日市やお祭り等商店街のイベントに合わせて見学に行ったりしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) かかりつけ医に関しては、ご本人やご家族の希望を大切に、これまでの関わりを大切にしながら適切な医療を受けられるよう選択してもらっています。</p> <p>(外部評価) 病院受診は家族が支援している。法人内の医療等の関係者の協力が得られ、誤薬や転倒があった時等には、アドバイスがあったり、勉強会等を行ったりして改善策を検討している。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) その都度、何か変わった事があれば、協力医療機関の看護師や連携看護師に報告を行い対応について相談するようにしています。状況に応じて、適切な受診や看護を受けられるよう必要な場合には病院に同行し、説明する等対応しています。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院時には経過が分かるよう情報提供し、入院後は早期退院に向けて、病院関係者と情報交換し相談しながら進めています。経過が分かるように、定期的に病院を訪問し、退院後の生活がスムーズにいこう状態の把握に努めています。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居時にかかりつけ医とご家族で話し合いの場を持ち、重度化した場合や終末期のあり方について説明し共有しています。看取りを始める際には、再度主治医・看護師・ご家族・施設職員で話し合いの場を持ち、ホームで出来る事を十分に説明し、同意を得てから看取りの支援に取り組んでいます。</p> <p>(外部評価) 終末期のあり方については、入居時に、協力医が希望を聞いて情報提供している。又、事業所でも聞きとり、家族の意向を把握している。今後は、利用者の思いや希望を知るような取り組みもすすめてほしい。事業所では、看取りの経験があり、家族も数日泊まり協力し合って看取った。亡くなった後は、アルバムをつくり家族に贈った。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 看護師による勉強会を実施しています。日々の業務の中で応急手当については協力医療機関の看護師や連携看護師よりアドバイスをいただいています。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 玄関や事務所に避難経路図や避難場所等掲示しています。また、消防署立ち合いでの訓練も実施しています。県が主催する訓練には参加できていますが地域との協力体制を築いていく事が今後の課題です。 (外部評価) 10月に日中の火災を想定した避難訓練を計画していたが、雨天のため室内のみで行った。今後は3月に予定をしている。備蓄は水、白米、おかゆ、防災用品等を5日分用意している。	さらに、地域との関係作りの取り組みとともに、災害時の協力体制作りにも取り組んでほしい。いざという時に、お互いに助け合えるような取り組みが期待される。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 否定的な対応や命令口調等、自分がされて不快に感じるような声掛けはしないようにしています。接遇に関しては折に触れてスタッフ会で話題に出し、日々の対応を振り返れるようにしています。 (外部評価) 利用者の性格等を踏まえて、利用者同士がかかわり合えるような場面を作っている。調査訪問時には、職員が編みかけの編み物を持って来ると、利用者同士が思い出や経験談を話したり、実際に編んでみたりしていた。又、季節の花をテーブルやテレビの横に活けて、よく話題にしている。散歩時に他利用者の車いすを押ししたり、世話するような場面作りにも取り組んでいる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 入居者さんが自己決定出来るよう、声掛けをする際には「しませんか?」と投げかけるようにしています。また、おやつは好みの物を選んでもらったり、買い物をする際にはご自分で選んでもらえるようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) リビングや自室など思い思いの場所で過ごして頂きテレビ鑑 賞・日光浴・希望があれば散歩に出かけています。また、トラ ンプやパズル等にお誘いし、参加された方と職員で楽しんで います。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 毎月希望があれば、散髪や毛染め等の利用ができます。毎 朝のモーニングケアでは髪をといたり顔を洗えるよう支援して います。入浴をする際や汚れた時には適宜更衣し、洋服は ご本人に選んでもらうようにしています。季節に合った服装 で過ごせるよう気をつけています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎月の献立を掲示しています。野菜の皮むきや台拭き・食 器の片づけ等入居者の方にも出来る事をしていただき職員 と一緒に協力しながら行っています。 (外部評価) 系列グループホームでつくったメニューをもとにして、事業所 で食材を発注して食事を作っている。調査訪問時には、利 用者がごぼうの笹がきをしたり、台所で一緒に調理したりす る場面がみられた。旬の食材を採り入れて見た目でも楽しめる ような食事作りに取り組んでいる。職員も利用者と一緒に 同じものを食べながら、味付け等を聞いていた。ユニットに よっては、利用者が食事のメニューを書いて掲示している。 ケイタリングを利用してイタリア料理を楽しむ機会がある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食、食事量の確認をし、記録に残すようにしています。水 分は食事以外にも10時・15時・19時に水分補給を行い、摂 取量が少ない場合には好みの物を提供し摂取出来るように しています。刻みやミキサー食・トロミ剤の使用等状態に合わ せて対応しています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを実施しています。夜間は義歯を外し洗 浄剤に付け、清潔に保てるようにしています。また、身体状 況に応じて仕上げ磨きをしたり等口腔内の清潔保持に努め ています。歯磨きに使用する歯ブラシやコップ類も週に一度 は消毒し清潔に使用出来るようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 水分補給や食事前を目安に適宜声かけをしてトイレ誘導しています。おむつの使用を減らし、トイレでの排泄が継続出来るよう支援しています。 (外部評価) 毎月、排泄用品の使用量等を個々に確認し、本人に合っているか点検したり、試したりして適切な利用ができるよう支援している。又、出来るだけ節約できるよう配慮している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎朝ヨーグルトを摂取してもらっています。麦ご飯やイモ類・ごぼう等の食物繊維豊富な食材を取り入れ薬に頼らなくても自然に排便が出るよう適宜工夫しています。屋内外にある廊下や駐車場・中庭を利用して歩く機会を作ったり、毎日体操を行い、腸の働きが良くなるよう取り組んでいます。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) その日の体調に合わせて、拒否があった場合には翌日にする等臨機応変に対応しています。無理強いせず、気分よく入浴出来るよう気を付けています。 (外部評価) 個々が週に2回程度入浴できるように支援している。浴槽の横に同じ高さのいすを置き、自分の力を使って浴槽に出入りできるように支援している。入浴剤を使用している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 車椅子を使用している方は特に長時間座りっぱなしにならないよう、適宜休息出来るようにしています。また、その日の体調や前日の睡眠状況等も配慮しながら安心して過ごしてもらえるよう支援しています。季節に合った寝具、室内温度にも注意し安眠出来るよう心掛けています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 定期薬は届いたらお薬情報で確認しています。薬内容に変更があった場合には変更後の経過を観察し適宜主治医に報告をするようにしています。内服をする際は、ご本人に配薬する前に職員間で名前と日付の確認をし、ご本人の前でも名前と日付を口に出して確認後に内服してもらっています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 料理の手伝いをしていただいています。季節ごとに行事を計画し他者との交流を増やすことで刺激のある生活を過ごしてもらえよう支援しています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日には散歩に出かけたり、商店街へ行ったりしています。ご家族の協力もあり、一緒に外出される方もおられます。	
			(外部評価) 調査訪問日、昼食後の暖かい時間に、職員が誘って道ぶちの花壇のそばで過ごしていた。はじめは誘いを断っていた利用者がいたが、居間から外で過ごしている様子を見て、「私も出たい」と申し出て一緒にひなたぼっこをしていた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご本人の希望に応じてご家族と相談しながら対応しています。何か買いたいものがある場合には一緒に出かけて買い物をすることもあります。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族や大切な人との繋がりを大切に、希望に合わせて、いつでも電話の利用が出来ます。ホームに届いた手紙や荷物はご本人にお渡しし、目の前で開封するにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関や出窓、フロアーには季節の花を生けたり飾りつけをして季節を感じてもらえるよう工夫しています。また、廊下やフロアーには適宜休憩をとったり団欒の場となるよう椅子を設置しています。トイレや居室玄関等の臭いにも配慮し、適宜換気を行い快適に過ごせるようにしています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>テレビの音量や職員の声を控えめにして、静かな雰囲気を作っている。各所にソファーやいすを配置しており、又、廊下の突き当たりの日当たりの良い場所にいすを置き、思い思いに過ごせるようにしている。職員が出窓や所々に季節の小物を飾っており、利用者の楽しみにもなっている。さらに、空気が乾燥するような季節には、湿度管理等にも気を配ってほしい。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>フロアーだけでなく、廊下や玄関先にも椅子がある為、気の合った入居者さん同士で思い思いに過ごされています。休みたい時や一人になりたい時には居室で過ごされる方もおられます。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご自宅で使われていた馴染みの物を持って来ていただけるよう入居の際にお伝えしています。お仏壇や布団等、ご本人の希望する物を持って来ていただき、ご本人が居心地よく過ごせるように配慮しています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>表札を利用者の目の高さの位置に掛けている。写真を飾っているところもあった。犬好きの方は、写真やぬいぐるみを飾っている。2階では、窓をあけて海風を感じたり、港に停泊する船舶を見るのを楽しみにしている方がいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>自宅でポータブルトイレを使用されていた方は、ホームでもポータブルトイレを使用しトイレでの排泄が安全に継続出来るようにしています。ベットの柵も入居者さんの身体状況に合わせて介助バーを使用することで自力で移乗が出来ます。足元が不安定な方にはセンサーを使用し、夜間のトイレ等付き添えるようにしています。</p>	